

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
経営協議会（平成29年度第2回）議事要旨

1. 日時 平成29年11月29日（水）14:00～16:11
2. 場所 奈良先端科学技術大学院大学 事務局3階 会議室
3. 出席者 横矢議長
垣内、箱嶋、中島、土井、小笠原、常盤の各学内委員
小山、田中、手代木、板東、宮寫、矢嶋の各学外委員
欠席者 ヴィーツォレック、野間口、宮原の各学外委員
出席監事 西村、野口の各監事
陪席者 石川、奥田の各部長
西山、寒川、林田、森田、尾形、佐橋、田坂、木田の各課長
4. 配付資料
- 資料1 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会（平成29年度第1回）議事要旨（案）
- 資料2 有期契約職員就業規則の見直しについて
- 資料3 平成29年人事院勧告による一般職の職員の給与に関する法律（国家公務員給与法）の改正への対応について
- 資料4 国家公務員退職手当法の改正への対応について
- 資料5 西ノ京職員宿舍の廃止について
- 資料6 平成29年度 目的積立金の配分について（案）
- 資料7 本学の主な動き（平成29年6月～平成29年11月）
- 資料8-1 先端科学技術研究科の設置について
- 資料8-2 設置計画の概要
- 資料8-3 事前伺いの結果について（通知）
- 資料8-4 先端科学技術研究科誕生パンフレット
- 資料9 研究大学強化促進事業中間評価結果（案）
- 資料10 平成28年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）
- 資料11 平成29年度外部資金の受入れについて
- 資料12 平成28事業年度財務諸表の承認について（通知）
- 資料13-1 平成30年度概算要求における運営費交付金等の状況について
- 資料13-2 平成30年度文部科学関係概算要求のポイント
- 机上資料 奈良先端大の概要と特色

5. 議事

（前回議事要旨の確認）

資料1の前回（平成29年度第1回）の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

（審議事項）

（1）国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学有期契約職員就業規則等の一部改正等について

中島委員から、資料2に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学有期契約職員就業規則等の一部改正等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

- (2) 平成29年人事院勧告による一般職の職員の給与に関する法律（国家公務員給与法）の改正への対応について
中島委員から、資料3に基づき、平成29年人事院勧告による一般職の職員の給与に関する法律（国家公務員給与法）の改正への対応について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。また、今後の具体的な規程改正等の内容については、学長に一任することとした。
- (3) 国家公務員退職手当法の改正への対応について
中島委員から、資料4に基づき、国家公務員退職手当法の改正への対応について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。また、今後の具体的な規程改正等の内容については、学長に一任することとした。
- (4) 西ノ京職員宿舎の廃止について
中島委員から、資料5に基づき、西ノ京職員宿舎の廃止について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- (5) 平成29年度目的積立金の配分について
中島委員から、資料6に基づき、平成29年度目的積立金の配分について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(報告事項)

- (1) 本学の主な動きについて（平成29年6月～平成29年11月）
議長から、資料7に基づき、平成29年6月から平成29年11月までの本学の活動状況等について、報告があった。
- (2) 先端科学技術研究科の設置について
議長から、資料8-1～4に基づき、先端科学技術研究科の設置について、報告があった。
- (3) 研究大学強化促進事業中間評価の結果（案）について
議長から、資料9に基づき、研究大学強化促進事業中間評価の結果（案）について、報告があった。
- (4) 平成28年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
箱嶋委員から、資料10に基づき、平成28年度に係る業務の実績に関する評価の結果について、報告があった。
- (5) 平成29年度外部資金の受入れについて
箱嶋委員から、資料11に基づき、平成29年度外部資金の受入れについて、報告があった。
- (6) 平成28事業年度財務諸表の承認について
中島委員から、資料12に基づき、平成28事業年度財務諸表の承認について、報告があった。

(7) 平成30年度概算要求における運営費交付金等の状況について

中島委員から、資料13-1～2に基づき、平成30年度概算要求における運営費交付金等の状況について、報告があった。

(情報交換・意見交換)

議長から、資料8-4に基づき、先端科学技術研究科の設置について意見交換が行われた。

(主な意見等は、次のとおり)

- ・ 1 研究科に移行する一番の利点は学生に対する融合領域の教育が可能となることだが、新たな教育の内容を理解してもらうためにも、奈良先端を志望する学生への情報提供ツールとして、ホームページで最新の情報提供をしていく必要がある。
- ・ 学生がどの分野でどんな教育を受けるかといったイメージを具体的に持てるように、ガイダンスや指導の仕組みを整備すべきである。
- ・ 教育プログラムの中でデータサイエンスを重要視されているとのことであるが、融合的な教育というだけでなく、新しい軸としてアピールしてはどうか。

以 上